



第 17 回 東京エリア Debian 勉強会 事前資料

Debian 勉強会会場係 上川純一*

2006 年 6 月 17 日

* Debian Project Official Developer

目次

1	Introduction To Debian 勉強会	2
1.1	講師紹介	2
1.2	事前課題紹介	2
2	Debian Weekly News trivia quiz	3
2.1	2006 年 XX 号	3
3	最近の Debian 関連のミーティング報告	4
3.1	東京エリア Debian 勉強会 16 回目報告	4
4	Debconf で開催された会議概要	5
4.1	Embedded Debian BOF by wookey	5
4.2	100 dollar PC by Jim Gettys	5
4.3	GPL v3	5
4.4	X の歴史	5
4.5	ハッカー文化	6
4.6	translation/i18n BOF	6
4.7	Lightening Talk	6
4.8	debconf67 BOF	6
4.9	6
5	次回	7

1 Introduction To Debian 勉強会

上川純一

今月の Debian 勉強会へようこそ。これから Debian のあやしい世界に入るという方も、すでにどっぴりとつかっているという方も、月に一回 Debian について語りませんか？

目的として下記の二つを考えています。

- メールではよみとれない、もしくはよみとってられないような情報を情報共有する場をつくる
- まとまっていない Debian を利用する際の情報をまとめて、ある程度の塊として出してみる

また、東京には Linux の勉強会はたくさんありますので、Debian に限定した勉強会にします。Linux の基本的な利用方法などが知りたい方は、他でがんばってください。Debian の勉強会ということで究極的には参加者全員が Debian Package をがりがりと作りながらスーパーハッカーになれるような姿を妄想しています。

Debian をこれからどうするという能動的な展開への土台としての空間を提供し、情報の共有をしたい、というのが目的です。次回は違うこと言ってるかもしれませんが、御容赦を。

1.1 講師紹介

- 上川純一 宴会の幹事です。

1.2 事前課題紹介

今回の事前課題は「Debconf に自分が参加するならこれをしたい」というタイトルで 200-800 文字程度の文章を書いてください。というものでした。その課題に対して下記の内容を提出いただきました。

1.2.1

1.2.2 上川

2 Debian Weekly News trivia quiz

上川純一

ところで、Debian Weekly News (DWN) は読んでいますか？Debian 界隈でおきていることについて書いている Debian Weekly News. 毎回読んでいるといろいろと分かって来ますが、一人で読んでいても、解説が少ないので、意味がわからないところもあるかも知れません。みんなで DWN を読んでみましょう。

漫然と読むだけではおもしろくないので、DWN の記事から出題した以下の質問にこたえてみてください。後で内容は解説します。

2.1 2006 年 XX 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/XX/> にある 5 月 XX 日版です。

問題 1.

- A
- B
- C

問題 2.

- A
- B
- C

問題 3.

- A
- B
- C

問題 4.

- A
- B
- C

3 最近の Debian 関連のミーティング報告

上川純一

3.1 東京エリア Debian 勉強会 16 回目報告

4 Debconf で開催された会議概要

岩松, 上川

4.1 Embedded Debian BOF by wookey

組み込み系の Debian についての BOF です。一番大きな話題はおそらく、

4.2 100 dollar PC by Jim Gettys

ハードウェアを開発しており、もうすこしで、サンプルボードが出荷されるそうです。ただ、消費電力を少なくするために、白黒の液晶を反射型ではなく透過型を利用するらしく、まだ生産できていないようです。子どもは 5W-10W 程度の電力を発電できるそうで、それで駆動させるために、1W 程度の消費電力におさえているそうです。

ソフトウェアの革命的な変更が必要だ、と主張していました。

CPU は Geode だそうです。

本来はキーを押すたびにスリープから復活するような設計にするつもりだったのですが、そうすると 100ms 程度かかってしまうので、反応が悪すぎてあきらめたそうです。

4.3 GPL v3

GPL v3 についての議論をしました。

Debian として GPL v3 の策定に参加しているので、意見があるのなら、コーディネータにメールするようにという事です。

次のドラフトがもうすぐでるので、それに対してまたコメントしましょう、ということでした。

4.4 X の歴史

X Consortium はひどかった。The Open Group に移管、された後、XFree86 が実質的な権限をもっていた。XFree86 は X Consortium に参加するための企業として登録されているのだが、登録を簡単にするために必要最低限の会則だけがあり、この時点では実際は一人で運営されており、最終的に開発者が追放されたり、ライセンスが変更になったりした。

Xorg になってよかったね。

教訓としては

- ガバナンス重要
- いそいでつくったものは長い間残る
- 参加して、オープンで居続けるべき。

4.5 ハッカー文化

Biella Coleman が自分の研究成果について説明していました .

4.6 translation/i18n BOF

3 回に及ぶ BOF .

翻訳についての現状とこれからについて議論していました .

Rosetta などの既存の新しいツールでは解決できない問題 , これからどうしていきたいのか , という事について話し合われました .

4.7 Lightening Talk

4.8 debconf67 BOF

結論が出ませんでした .

4.9



未定です。内容は本日決定予定です。
参加者募集はまた後程。



Debian 勉強会資料

2006 年 6 月 17 日 初版第 1 刷発行

東京エリア Debian 勉強会（編集・印刷・発行）
